



山梨高校創立100周年記念事業の成功をめざして

同窓会長 吉原五鈴子

同窓会だよりを発行してから8年目を迎える第15号をお届けします。同窓生各位の本会へのご理解ご協力に厚く感謝申し上げます。

今回、私ども同窓生の先達、故古屋純子顧問様（6月30日ご逝去）と丸山とみ子参与様（7月19日ご逝去）が相次いで旅立たれたことを先ずはお伝えしなくてはなりません。古屋純子顧問様は平成7年度から14年度まで8年間にわたり同窓会会長をお務め頂き、その毅然とした姿勢ご挨拶には定評がありました。また丸山参与様は、長きにわたり同窓会副会長として活躍され、平成23年度から今年度も参与として現役でご指導を頂いておりました。

同窓会は目下、来年29年度に迎える山梨高校創立100周年記念事業実行委員会の一端を担い、募金活動に鋭意取組中ですが、こんな時こそご指導頂くべき存在のお二方を亡くしたことは誠に痛恨の極みでございます。心より冥福をお祈り申し上げます。

この4月29日の定期総会・懇親会には、雨宮美鈴実行委員長様をはじめ実行委員さんの果敢かつ献身的な取組みのお蔭で、素晴らしい成果を上げて頂きました。先般、同窓会本会及び創立100周年記念実行委員会へ多額なご寄付も頂きました、心から厚く感謝申し上げます。

さて、開校以来100年は、昭和の時代が3分の2を占め、昭和の時代を締括すると多くの方が、激動の時代であったと言われます。とりわけ昭和10年代から終戦を含む25年頃迄に本校に学ばれた方々の厳しい学校生活の様子を伺うにつけて改めて平和の時代に生きる私どものありがたさを痛感します。

この度、公職選挙法が改正され、満18歳からの投票権が施行されました。在校生の中にも実際にこの権利行使をされた方もおられましょう。長い間、教育の場では、主体的判断力を身につける取組みがなされてきたと聞いておりますが、自らの生活、自らの願いを適切な権利行使によって切り拓くことは、何よりも大切です。

先日垣間見させて頂いた学園祭「梨祭」でも、在校生が伸び伸びと自己主張している姿に深く感動致しました。次の時代はこれら若人が拓いていく、そのためにこそ同窓会がその成長を支援して参らねばなりません。同窓会館の全面改修等により、在校生の活動が一層促され、花開くことを確信し、創立100周年記念事業の成功を何としても果たしたい。尚一層のご理解ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げ、挨拶とさせて頂きます。

地域の若者としての誇り

学校長 三森克人



この春に着任しました三森克人と申します。同窓生の皆様とともに、この山梨高校の発展のために力を尽くして参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、着任以降、様々な場面で生き生きと活躍する梨校生の姿を見てきましたが、中でもボランティア活動への意欲のある生徒が非常に多いことに感心しています。

担当者が把握しているだけでも、昨年度の実績で、約126人の生徒が自主的に何らかのボランティア活動に参加しました。内容も様々で、デイサービスや保育の補助・富士山クリーン活動・共同募金の街頭キャンペーンなど多岐にわたりています。学校側が組織として取り組むのではなく、自主的に申し込んでいる生徒だけでこれだけ存在しているわけで、把握していない部分を加えればさらに多くなるはずです。

また、本校では、3年前から家庭科の授業の中で、山梨市の認知症センター養成講座を開いています。認知症センターとは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。授業の中では外部からの講師として、山梨市介護福祉課の職員の方に基礎的なところから話ををしていただき、認知症の方々への理解を深めています。この講座を受講した本校の生徒が、部活動中に放送された防災無線を聞き、適切な対応で徘徊中の方の早期発見に役立ったとの話も伺いました。

自分には何ができるかを考え、行動に起こしている梨高生を誇りに思うと同時に、この思いやりの輪をさらに広げ、地域に生きる若者として活躍して欲しいと願っています。

平成28年度山梨高等学校同窓会総会・懇親会

「来年もまた来るよ」の声に励まされて

平成28年度第99回山梨高校同窓会総会実行委員長 雨宮美鈴

甲府盆地がピンクの絨毯で覆われた4月29日、参加者200名ほどをお迎えして、平成28年度の同窓会総会が開催されました。

今年度の当番幹事は、昭和48年度卒と平成5年度卒のメンバーが担当しました。

卒業して42年。現在は校門に入ったところにある校訓「至誠無怠」の大きな石は、かつては南側の正面に位置していました。在校生も私たちと同じ気持ちで勉学や部活動に励んでいたと思うとうれしくなりました。私が在学中は、甲府第二高校と山梨高校は女子高校として歩んでいました。現在は男女共学、全県一区の入試制度になりましたが、昔と変わらない校風が息づいています。

同窓会の総会には、合唱部のコーラス、私たちの頃の応援とは違う形での応援委員会の発表、吹奏楽部の迫力ある演奏を聴かせていただき、在校生の意気込みが伝わってきました。

懇親会のレセプションコンサートは、甲州市出身の珠さんにスタイルパンの演奏をお願いしました。「マンボNo.5」の軽快な演奏に、会場は熱気に包まれ、途中演奏された童謡唱歌のやさしい音色は、私たちの心を癒してくれました。演奏時間はわずか40分でしたが、至福の時間を過ごすことができました。

お楽しみ抽選会で盛り上がった懇親会もおわり、恩師を送り出すアーチで、先生が「楽しかったよ。来年もまた来るよ」と声をかけてくださいました。この一言ですべての苦労が報われた気がしました。

昨年、山梨県で初のノーベル医学学生理学賞を受賞された大村智先生は「原点は山梨の自然、一番大切なことは、人のためになることだ」とおっしゃっていました。私も自分に何ができるかわかりませんでしたが、実行委員長として、創立100周年を迎える来年にたすきを繋げていく一助となることができたら幸いです。

今年度、残金の活用として、学校・同窓会及び創立100周年記念事業更には熊本の義援金としても寄付することができましたことをご報告させていただきます。

最後に、広告をご協力いただきました企業の方々、同窓会の役員様、実行委員の皆様にお礼と感謝を申し上げると共に、山梨高等学校並びに同窓会の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。



平成28年度同窓会役員紹介

常任顧問 三森克人
顧問(既) 古屋純子
丸山正一
参与(既) 丸山とみ子
佐野知都子
前嶋宇タ子
会長 前嶋五鈴子
副会長 高橋文子
矢崎圭子
遠藤文子

三科典子
落合節子
雨宮道子
雨宮悦子
島田洋子
菊島史子
武藤俊子
三森恵
丸山美佐子
遠藤三恵子

監事
牧丘支部
間瀬朝子
山本光子
加々美和美
三富支部
日原貴美保
塙山支部
雨宮節子
向山ゆき子
芳賀月子

石和支部
川手鶴子
中村玲子
小鳥居房江
一宮支部
小池富美子
久津間薰
向山賀子
加藤純子
保崎かおり
春日居支部
山本賢二
城眞樹

古屋美智子
林景子
小島百合香
丹沢明美
甲府市部
雨宮登美子
山縣洋子
保坂早苗
東京支部
雨宮道子

※古屋純子 平成28年6月30日ご逝去されました。
※丸山とみ子 平成28年7月19日ご逝去されました。
※他の支部については、検討中です。

会長を補佐し総務的な仕事を担当 副会長 高橋文子

平成21年より同窓会副会長として活動しています。当時は同窓会関係の事務員が居りましたが23年に事務員が退職しましたので、それ以降は正副会長で仕事を分担してきました。私の主なる仕事としましては、会長を補佐し正副会長会議の企画運営、同窓会総会実行委員会の指導・助言などを行っています。また、学園祭・発表会など可能な限り学校行事に参加し後輩の活躍ぶりを拝見し応援していますが、私自身生徒たちから若さと元気を貢献しています。これからも微力ながら母校の発展に貢献したいと考えております。

研修会担当

副会長 矢崎圭子

10月23日の学校創立記念日には、同窓会恒例の研修旅行を実施しております。私はその企画・運営を担当しております。一番悩むのは研修場所の選定です。過去の研修場所等を参考に皆様のニーズに合った所を見つけるのが腕の見せ所かなと頑張っています。

「研修旅行に参加して良かった!」等の感想が聞かれるよう、また「会員の皆様がコツコツと参加頂けるような企画を」と考えております。皆様からのご意見をお待ちしております。

庶務担当

副会長 遠藤文子

私は執行部が開催する年4回の同窓会役員会の会場準備・受け付け・記録等、及び執行部全般の庶務を主に担当しています。

同窓会発展に意欲的に取り組まれている会長を中心として、執行部の仕事は年々充実しています。これからも重責を担われる先輩方のお役に立てるよう、機軸をきかせ庶務として隅々まで気配りができるよう頑張ります。

奨学生授与担当

副会長 落合節子

山梨高校同窓会事業の一つに奨学生授与があります。

これは、山梨高校創立50周年記念で発足し同窓会と在校生とを繋ぐもので、程なく50回を迎える歴史あるものです。私は、その一端を受け持ち、学校と同窓会との連絡を取り合う役割をしています。

学業・人格共に優れ、また部活等にも熱心な生徒の中から1年・2年・3年各2名づつ定時制1名計7名に3万円の奨学生を授与するものです。間もなく創立100周年を迎える事業として、更なる発展を願っております。

東京支部を代表して

副会長・東京支部長 雨宮道子

東京からの電車が勝沼ぶどう郷駅に着くと視界がパッと開け、四季折々の甲府盆地が味わえます。四月の勝沼の桜、盆地に広がる桃の花のピンクの絨毯から始まる一年。故郷は私にとっては、やっぱり近くにありて想うものです。

東京支部を代表して副会長をさせていただいています。東京と山梨を結ぶさやかな役割として、今年は東京支部総会を新宿御苑で行いました。同窓会だよりの発送・役員会への出席等を果たしています。

「同窓会だより」の担当

副会長 三科典子

平成24年度から今日まで、副会長の仲間入りをさせて頂いております。私は現在「同窓会だより」の企画や校刊・印刷所との交渉等を担当しております。この「同窓会だより」が多くの同窓生に読んで頂けるようこれからも工夫していくかと思います。執行部全員で行う様々な活動にも関わっています。素晴らしい仲間に出会えたこと、同窓生のご協力にも深く感謝しております。

「同窓会だより」の担当

副会長 雨宮悦子

昨年度から、吉原同窓会長はじめ、先輩役員のなかで同窓会行事・創立100周年に向けての事業・募金・それらに関わる作業に携わっております。「同窓会だより」の係では、三科副会長とともに皆様から頂いた原稿のレイアウト・校正等を行ない、同窓生・在校生の活動を紙面から最大限お伝え出来るよう、微力ながら努めています。出会いを大切に同窓会の発展に尽力して参りたいと思います。

創立100周年記念事業への募金活動の状況について

副会長 高橋文子

山梨高校は、来年10月に創立100周年を迎えます。一昨年創立100周年記念事業実行委員会が発足し記念事業の具体的な内容が検討されました。主な事業は、記念式典・記念誌の発行・記念講演・同窓会館の改修等です。これらの記念事業に3000万円の予算が計上され、同窓生・在校生・職員・元職員・一般企業に向け協力依頼を行うこととなり、昨年10月から募金活動に入りました。募金活動の締切りは平成29年3月末日となっております。平成28年5月現在1200万円ほど集まりましたが、予算額には遠く及びません。第2弾として歴代の同窓会総会実行委員・高校時代の生徒会役員・同窓会クラス理事の約1000名に「同窓会だより」とともに協力依頼を発送し、本人はもとより同級生・知り合い等に募金活動への協力をお願い致しました。また、6月の第1回同窓会役員会では、各支部の役員を通して一般企業への募金依頼と、まだ協力いただいている同窓生へ寄付依頼をお願い致しました。

同窓会しましても、母校の発展と在校生が充実した高校生活が送れるよう手助けしたいと考えております。ぜひとも同窓生の創立100周年記念事業へのご協力ご支援を切にお願い申し上げます。

学校だより・学校ニュース

二年半の書道部生活を振りかえって

書道部部長 田中寛菜

私は、中学時代に書道パフォーマンスの存在を知り、書道部に入部しました。書道パフォーマンスは、何人もの部員が一定時間の中でBGMに合わせながら作品を完成させることで「見える書道」ともいえるのです。見た目は華やかで簡単そうですが、実際は時間



との齧りです。練習では上手くできても、会場の状況によってトラブルが起きたり、雰囲気に呑まれて緊張で頭が真っ白になったり手が震えたりします。でも、私は回を重ねるにつれて、そんなトラブルやプレッシャーも楽しめるようになりました。

書道部は、部員の良いところも悪いところも互いに言い合え、切り替えが素早くできる部活です。だからこそ今年も書道パフォーマンス大会で優勝ができたのだと思います。そして、私たちのために手厚い指導をして下さった保証先生のおかげであります。もし、書道部の顧問が保証先生ではなくたら、また書道部がこのメンバーではなくたら、私は部長という大役をやりきることができなかつたと思います。ありがとうございました。

平成28年7月17日、私は書道部を引退しました。今まで部長として部員のために何かできたのだろうか、また、先輩方のように尊敬される存在になれたのか、それは分かりません。もちろん、辛いことや悲しいことも多くあり、部活を辞めようかと本気で悩んだ時期もありました。ですが、辞めずにここまで来られたのは、仲間である書道部の皆のおかげでした。今、振り返ってみると、私がこの二年半で得たものは伝えきれないほどたくさんあります。

これから代が替わります。後輩たちには、今まで以上に積極的に活動して、山梨高校書道部をさらに飛躍させて下さい。応援しています。

同窓生の方でご活躍している方がおりましたら、事務局までお知らせ下さい。ご紹介させていただきたいと思います。

生徒会長のバトンを受け継ぎ、走り続けた1年

生徒会長 高久仙慈

生徒会長の役職を前会長から受け継いでから、1年が経ちました。私にとってこの1年は、受け継いだのがつい昨日のように思えるほどに早く過ぎ、様々なことを学び、乗り越えてきたとても濃い期間でした。指示を待つ側から指示を出す側になり、段取りを考える一方で見落としがないように慎重に進めていくことはとても難しく、さらには後輩への指導も重なります。考え方、走り続け、走り続けの連続だったように思います。

中でも最も忘れない生徒会行事は、6月に行われた梨祭です。半年前から準備を進めましたが、仕事量は当初の予想をはるかに超えるもので、毎日下校時刻ギリギリまで作業をしていました。また、6月には部活動でも最後の大会になるインターハイ予選への出場もあり、忙しさはピークに達していました。そのような中でも、生徒会本部役員や梨祭実行委員会の力強い協力と支えで、なんとか準備を進めることができました。また、各クラスでも団結してクラス発表やクラス企画に一生懸命取り組み、「SHINE～僕たちは未来の光～」という梨祭のテーマの通り、未来の梨祭に於いて光のような存在になれる、素晴らしい2日間となりました。

梨祭に限らず、どんな生徒会行事においても、多くの先生方や生徒会本部役員をはじめ、多くの梨高生の支えが必ずありました。そのような支えがあったからこそ、ここまで来ることができました。支えてくださった皆様、本当にありがとうございます。

私が前会長から受け継いだものを、私もまた、次の会長に引き継いでいきます。新生徒会長には、節目である創立100周年を、また新たな巣高の始まりとして、さらなる発展への足掛かりの年にしてもらいたいと願っています。

最後になってしましましたが、同窓会の皆様には日頃から数々の支援とご協力をいただいており、大変感謝しております。百周年を迎える山梨高校がますます発展していくよう、私たちも尽力してまいりますので、これからもよろしくお願い申し上げます。

平成28年度 山梨高等学校

梨美展

10月16日(日)~21日(金)

山梨県立山梨高等学校
文化創造館1階梨窓ホール

多くの皆様のご来場をおまちしております。

山梨県立山梨高等学校 同窓会事務局 www.yamanashi.kai.ed.jp
〒405-0018 山梨県山梨市上神内川194 ☎tel:0553-22-1621 ☎fax:0553-22-1623